



「JCM 補助金活用による日本企業の ASEAN 展開」

国際機関日本アセアンセンター

日本アセアンセンターでは、本年度、ESG (Environment, Social, Governance) をテーマにした日本企業の ASEAN 展開事情や制度を紹介する講座を開催します。

日本政府は優れた低炭素技術等の普及を促進するべく、二国間クレジット制度 (JCM) を構築・実施しています。日本国環境省は、JCM プロジェクトの実施を後押しするため、省エネルギーや再生可能エネルギー等に関する設備投資の初期費用の一部 (上限 1/2) を補助する「JCM 設備補助事業」を実施しており (平成 30 年度予算として計 69 億円を交付予定)、ASEAN 加盟国では既に約 100 件の事業が採択・実施されています。

そういった支援のある中、今回は、ASEAN 諸国における低炭素技術の導入事例について、現場での挑戦や課題、今後の展望などを実施企業の方々からお話しいただくとともに、補助金の執行団体によるスキームの概要説明を予定しています。

皆さまの奮ってのご参加をお待ちしております。

日時	2018 年 10 月 2 日 (火) 14 時 00 分～15 時 30 分 (受付開始: 13 時 30 分)
場所	日本アセアンセンター アセアンホール 東京都港区新橋 6-17-19 新御成門ビル 1 階
講師 (予定)	1. 公益財団法人 地球環境センター (20 分) 東京事務所 事業第二グループ長 反後 暁 氏 「二国間クレジット制度 (JCM) の概要と仕組み」 1992 年に国連環境計画 (UNEP) 支援法人として設立されて以来、25 年以上にわたって環境上適正な技術の普及促進に取り組み、2014 年から JCM 設備補助事業の執行団体。 2. 東京センチュリー株式会社 (20 分) 国際営業推進部門国際ソリューション支援部第二グループ 次長 青木 貴史 氏 「JCM 活用事例紹介: フィリピン、インドネシア、タイ」 日本の大手金融・サービス会社。強固な日系顧客基盤、日系サプライヤーとのパートナーシップ、海外拠点ネットワークという強みを活かし海外事業を拡大。2017 年にリース事業が設備補助対象となったのを機に JCM の活用を開始。 3. 裕幸計装株式会社 (20 分) 取締役/ソリューション事業本部 本部長 兼 海外事業部長 菅原 俊英 氏 「JCM 活用事例紹介: ラオス」 自動制御システム (計装) のエンジニアリング会社。2014 年よりアモルファス変圧器をベトナム配電公社へ提供する事業を開始し、累計 1 万台以上を導入する事業を実施。 5. 質疑応答 (25 分)
主催	国際機関 日本アセアンセンター
共催	公益財団法人 地球環境センター
対象	環境に配慮した ASEAN への事業展開に関心のある方、他

定員	100名 ☆定員を超えるお申込みがあった場合には上記の対象者を優先の上、抽選をおこないます。
参加費	無料
申込み	日本アセアンセンターウェブサイトよりお申し込みください。 電話・メール・ファックスによるお申し込みは受け付けておりません。 https://www.asean.or.jp/ja/invest-info/eventinfo-2018-23 受講者には受講票を発行いたします。 お申込みのない方の当日参加はできません。
問合わせ先	国際機関 日本アセアンセンター 貿易投資クラスター TEL : 03-5402-8006 http://www.asean.or.jp

☆ 当日は会場受付にて受講票とお名刺1枚をご提示ください。

☆ ご記入いただいた個人情報は、主・共催団体にて共有するとともに、講演者への提示および弊センターからの各種ご案内をお送りする目的に使用します。